

# 臨界事故を契機に討論を盛り上げる

## 1.6時限の授業プランを立てて、実践する

私は、「将来のエネルギーをどうするか」というテーマで、卒業前に授業する予定であった。その中心となるのは、「原子力発電を続けるべきか、やめるべきか」ということであった。そんな時に東海村での臨界事故である。

私は、今こそ、このテーマについて考えさせる絶好のチャンスと考え、次のような授業プランを立てて、授業を行った。（全6時限）

第1・2時限	東海村の原子力事故について調べる（新聞の切り抜きなど）
第3時限	事故の感想を話し合う
第4時限	「自分は原子力発電を続けるべきかどうか」について、自分の考えをまとめる
第5時限	討論をする
第6時限	世論の傾向を知り、自分の考えを再度まとめる

## 2.まとめてきたことをもとに、話し合う（3時限目の授業）

3時限目の最初に、1、2時限目にまとめてきたことを発表させた。全員に意見を言わせた。

今回の事故について、自分が書いていることを発表しなさい。特に、思ったことを中心に言いなさい。

約20分ほどかかった。そのあと、たずねた。

放射線が漏れ、人の体にあたるとどういった被害を与えますか。  
7分間で調べなさい。

7分後、調べたことを言わせていった。

- 白血球が異常に多くなる。
- 喉にガンができる。
- 急性の障害などで死ぬこともある。
- 吐き気、脱毛、水ぶくれ、ただれなどができる。
- 皮膚が赤くなる。

- 子どもができなくなる。
- 抵抗力がなくなる。
- 浴びるシーベルトの数が増えると、害もこわいものになっていく。
- 体の外だけでなく、内側もいためてしまう。
- 広島の被爆のように、皮膚はするむけになり、ほとんど意識がなく、体全体で肉がくさったようになる。
- シーベルトで全身に放射能がいきわたると、死亡の可能性が高い。

こういった答えが次々と出された。

今回の事故は原子力発電所の事故ではないのですが、もし、原子力発電所でも放射線が漏れるとその程度によって、人体にこういった害を及ぼすことがあります。

こういった話をしたあと、以前に学習した原子力発電のことを思い出させた。

日本では、原子力発電によって全体の発電量の3分の1、四国では2分の1をまかかっていましたね。原子力発電がほかの発電に比べて、すぐれている所はどんなところでしたか。

- 発電できる電気の量が多い。
- リサイクルできる。
- 材料が少なくてすむ。
- 二酸化炭素をあまり出さない。
- 燃料のウランが大きなパワーを生み出すこと。
- 火力発電に比べて環境に優しい。
- 気候などで量に変化せず、一定の量の電気がつくれるところ。

こういった意見が出された。1学期に原子力保安研修所を見学したこともあり、子どもたちはけっこう、原子力発電について知っていた。「ずばり、聞きます。これは、将来のエネルギー問題を考えていくうえで、とても大切な問題です」。こう前置きしたうえで、たずねた。

あなたは、原子力発電を続けるべきだと思いますか。やめるべきだと思いますか。

「うわ～、難しい問題だね」いきなり、こういった声が上がった。1分待ったあと、挙手をさせた。

続けるべきである 20人

やめるべきである 18人

このようにほぼ半々に分かれた。  
理由を口々に言っている子もいた。

### 3. 「原子力発電をやめてほかの発電を進める」のはどうか (5時限目の授業)

討論が始まった。最初の論点は、

原子力発電をやめてほかの発電を進めるのはどうか

であった。

討論で子どもたちから出された主な意見は次のとおり。

(○続けるべきである ●やめるべきである)

- 今回の事故は怖かったし、他の所で起きてても大変なことになるので止めたほうがいいと思う。
- 49人もの人が被爆したり、被害を受けたりしたのだからほかの方法で発電したらいいと思います。
- 太陽光発電や水力発電は、発電する量がとても少ないので、原子力を続けていかないといけない。ほかの方法といってもどんな方法があるのか。
- このごろ、生ゴミ発電というのがあって、研究されている。
- 新しい発電を発明したらいいと思う。
- そんなに早く新しい発電方法なんて見つからない。
- その新しい発電方法で、今、原子力発電で発電している量をまかなうことはできない。
- そんなことを決めつけずに、補えるように発電したらいい。
- そんなことはできるという保証はないし、時間もかかるのでやはり原子力発電はいいと思う。
- 地球に優しい太陽光発電などのほうに力を入れていったらいいと思う。
- 太陽光発電はすごくお金がかかるし、それに四国の家の屋根すべてにつけてもわずかしか補えないから無理だと思う。

- 四国の原子力発電がなくなると、半分が停電してしまうようなことになるから続けるべきだと思う。
- みんなの意見を聞いていると、電気をつくることばかり考えているけど、それより前に今、使っている電気を減らすことを考えたらどうですか。
- 原子力発電は世界でもたくさん使われているので、もっと続けるべき。
- 今の所は続けて、新しい発電ができればやめたらいい。
- 原子力はたくさん電気を送れるので、途中で変えずに続けたらいい。
- テレビで原子力発電を止めると大阪で使うくらいの電気がなくなるといわれているから止めると大変なことになる。
- 事故なんてあまり起こらないから、続けるべきである。
- 現にこういった事故が起こったから、これから起こらないとは限らない。
- 管理していたのに、起こったのだから起こらないとは限らない。
- この事故は管理していなかったから起こった。
- 事故は自然災害などによって起こることもあるから、管理を十分していても起こることはあると思う。
- 今回のような事故が日本でいっぱい起こるといやだから、やめるべきだと思う。
- エネルギー資源があとわずかになってきているが、これは原子力があって続いているのだから、続けたほうがいいと思う。
- 原子力をやめると電気が足りなくなって電気代が上がってしまう。
- 原子力発電所に勤めている人は無職になる。

小学6年生にとっては難しい討論であったと思う。難解な語句も多く、理解するのも大変だったろう。しかし、彼らは自分なりに精一杯考えてきた。4年生の時からスタートしたエネルギー学習は、40時間を超えた。その中には、火力発電所、太陽光発電所、原子力保安研修所の見学が含まれている。今はまだ、よくわからないことも多いだろうが、学習したことはいつの日にか必ず役に立つ時がくるに違いないだろう。